

報告書

研修会名：日本歯周病学会第23回歯科衛生士教育講演会
(社団法人日本歯科衛生士会 第3次生涯研修)

主催：日本歯周病学会 (歯科衛生士関連委員会)

協力：(社) 奈良県歯科衛生士会

日時：平成22年2月21日(日) 午前10時30分～午後1時

場所：奈良県中小企業会館 大会議室
(奈良市登大路町38-1 電話0742-26-6602)

演題：「歯周治療に必要な知識と技術」—歯周病認定歯科衛生士取得に向けて—
・歯周病とは(分類、特徴、多様性と再発の危険性等)
・歯周治療の基本的な流れと進め方

講師：日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員 長谷川 嘉昭
日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員 高坂 利美

研修単位：(1)(2)の両方に該当する場合は、(1)(2)それぞれの単位取得が可能

(1) 日本歯周病学会 会員の場合

- ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位 (参加者8単位)
- ・更新時の生涯研修単位 (10単位)

(2) 日本歯科衛生士会 会員の場合

- ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位

I-A 歯周病とは(分類、特徴、多様性と再発の危険性等) 1単位

I-A 歯周治療の基本的な流れと進め方 1単位

日程：

10:00 受付

10:30 開会

10:40 講義「歯周治療に必要な知識と技術」

- 12：30 休憩
12：40 講義「歯周病認定歯科衛生士取得に向けて」
13：15 質疑応答
13：30 閉会

内容：受講生は123名の歯科衛生士及び歯科衛生士学校学生ならびに数名の歯科医師であった。始めに奈良県歯科衛生士会会長の挨拶、続けて研修単位の説明があった。その後、講師紹介、講演に入った。奈良県歯科衛生士会からのご要望に従い、演題の範囲を基礎に絞り、歯周病の状態を把握するために必要な歯周組織検査の知識と技術に関して講義を行った。内容としては、「歯周病の検査・診断・治療計画の指針2008」に従って、細菌検査・炎症の検査項目（プラーク付着状況：O‘Learyのプラークコントロールレコード、歯周病原細菌検査、歯周病原細菌に対する抗体価検査、プロービング時の出血）を解説した後、プラーク細菌による歯周組織破壊の病因論を、実際の臨床例を提示しながら詳細に講義した。歯周組織破壊の検査項目からは、特にプロービングポケットデプスとアタッチメントレベルに焦点をあて、各種治療方法によって異なる歯周炎の治癒形態をイラストと臨床例を交えて、その相違点を解説した。

さらに、認定歯科衛生士を取得している本医院の歯科衛生士の臨床例から、歯周治療の基本的な流れと進め方を解説し、最後は、試験時のケースプレゼンテーションを供覧し、症例の発表方法について解説し終了した。その後、休憩をはさみ、日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会の高坂利美委員より、日本歯周病学会認定歯科衛生士取得に向けての説明で締めくくった。

感想：過去に実施した歯科衛生士教育講演のアンケート結果を踏まえ、講演題目の絞り込みと臨床例の提示を基に講演内容を構成した。その結果、概ね受講者からの反応は良好との事後アンケートを得た。また、認定歯科衛生士取得を考えている歯科衛生士の潜在人口が、予想以上に多い事も分かった。しかし、一方では受講者の層が、ベテランから学生までと幅広いため、求めるものも多岐にわたり、聞き手の要望に応じた細やか対応も今後の課題になると思う。更には、都道府県歯科衛生士会との協力を密にした継続的な教育も視野に入れた活動が、今後益々重要になっていくと考えられた。

以上

文責 日本歯周病学会認定歯科衛生士関連委員会 委員
長谷川 嘉昭